

# ようこそクラビノーバの世界へ

このたびはヤマハクラビノーバCLP-970/CLP-970Cをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
CLP-970/CLP-970Cの優れた機能を十分ご活用いただくために、次の3冊のマニュアルをご用意しています。

最初に必ず「取扱説明書」の「安全上のご注意」と「ご使用前の準備」をお読みください。

そのあと、目的に応じて、それぞれのマニュアルをご覧ください。



## 取扱説明書



クラビノーバの使い方を詳しく説明しています。

「目的別目次」や「索引」からも必要な情報を捜すことができます。

本紙の裏面ではクラビノーバCLP-970/CLP-970Cを紹介します。

## クラビノーバのおしえてクラビノーバ

シール付き



お子様がひとりでクラビノーバを体験できる本です。案内役としてクラビノーバが登場し、クラビノーバを楽しく説明します。「クラビノーバとその家族のシール」や「できたね！シール」を貼っていきながらこの本を完成させると、クラビノーバの基本操作が身に付きます。

## パソコン活用マニュアル

こんなことができます！  
クラビノーバ + パソコン



オンラインマニュアル (PDFファイル)です。

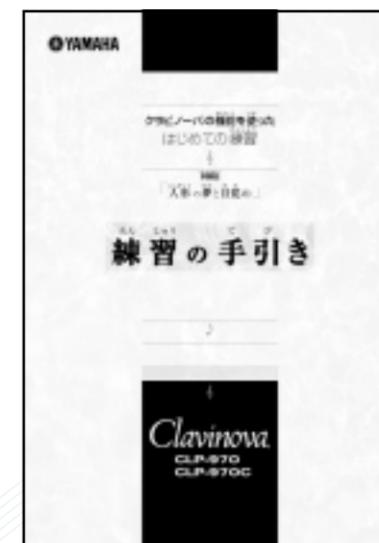
クラビノーバとパーソナルコンピューターを接続して何ができるのか、また、接続に必要なものや接続の仕方などについて、インターネットのホームページに掲載しています。

クラビノーバホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/cl/>

## 練習の手引き

クラビノーバの機能を使ったはじめての練習：  
例題曲「人形の夢と目覚め」



初めて鍵盤楽器に触られる方へ、ピアノ演奏の基礎知識と、クラビノーバの基本的な機能を説明しながら「人形の夢と目覚め」の30小節めまでを練習する方法をご紹介します。また、鍵盤楽器のご経験がある方でも、クラビノーバの基本機能をご理解いただくのにお使いいただけます。

## クラビノーバで弾く名曲50選

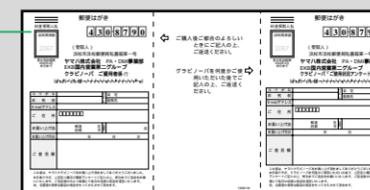
ピアノ50曲の楽譜集です。  
クラビノーバに入っているピアノ50曲プリセットソングの演奏データに対応する楽譜を掲載しています。

これらの曲は、鑑賞するだけでなく、クラビノーバの便利な機能を使って片手練習や部分練習をしながらマスターしていただくこともできます。



## ご愛用者カード

ご都合のよろしいときに記入していただき、ご返送ください。



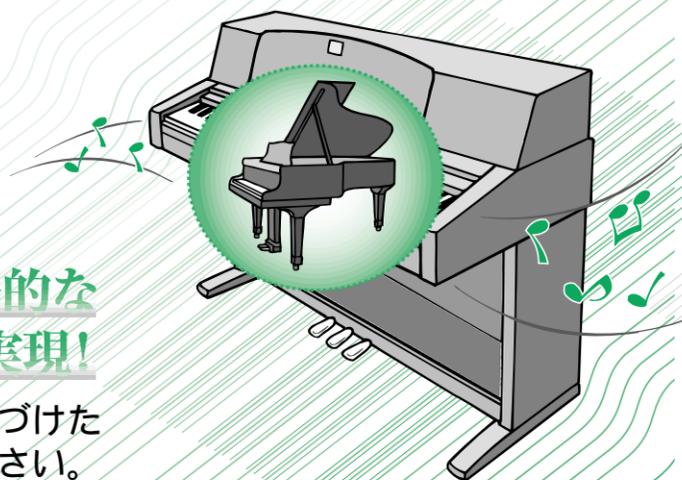
## ご使用状況アンケートカード

クラビノーバを何度かご使用いただいたあとで記入していただき、ご返送ください。

ヤマハクラビノーバCLP-970/CLP-970Cは、ヤマハ独自のサンプリング音源システム「AWMダイナミックステレオサンプリング」による豊かな音色と、鍵域により鍵盤の重さを変えてグランドピアノのタッチ感に近づけた「グレードハンマー鍵盤」による自然な弾き心地を備えた電子ピアノです。GrandPiano1の音色は、鍵盤を弾く強さに応じて5段階の波形をサンプリングする「ダイナミックサンプリング」を採用し、フルコンサートグランドピアノから新たにサンプリングしました。さらに、ピアノの響板の響きを加える「サウンドボードリバーブ」、弦どうしの共鳴音を再現する「ストリングレゾナンス」、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴音をサンプリングする「サステインサンプリング」、鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングする「キーオフサンプリング」をも採用し、アコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音づくりを行なっています。

素晴らしい  
グランドピアノの  
音で演奏!

本格的なグランドピアノの音で表現豊かに演奏しましょう。



本格的な  
鍵盤タッチ感を実現!

グランドピアノに近づけたタッチ感を堪能してください。

6つの音色デモ曲

聞いてみましょう(P24)。

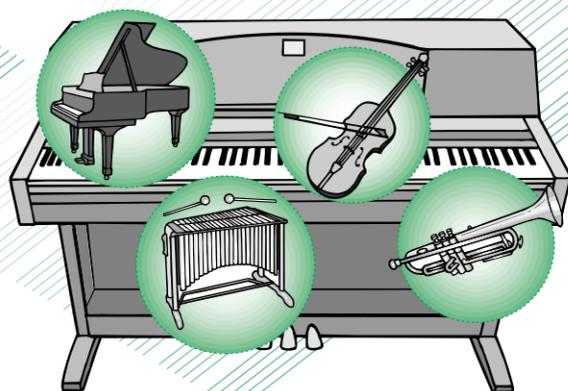
50のピアノ名曲!

鑑賞したり練習したりしましょう(P26、28)。



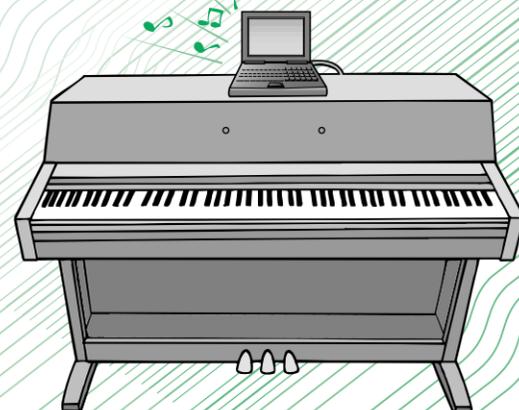
25のパネル音色+  
480のXG音色

洗練された25のパネル音色(P108)、さらに曲再生用に480のXG音色(P111)。



パソコンと  
ケーブル1本で接続!

パソコンとつないで  
もっと楽しみましょう(P63)。



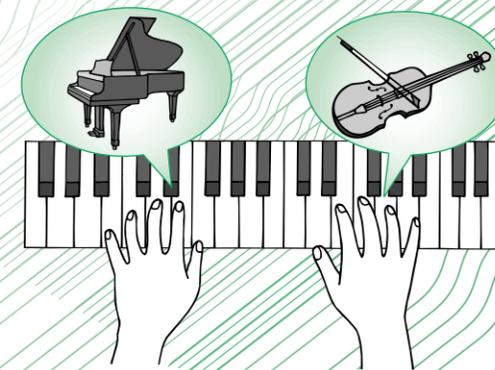
気軽に録音!

録音した演奏を聞いてみるのも練習のコツ。  
仕上げに演奏を録音して記念に残しておきましょう(P41)。



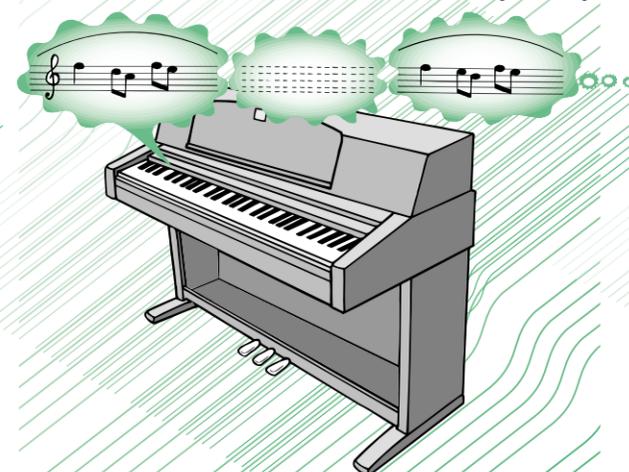
2つの音色を  
一緒に鳴らせる!

2つの音色を混ぜたり(P35)、  
鍵盤の左右で違う音色を鳴らしたり  
してみましょう(P37)。



効率よく練習!

片手練習や部分練習をするときに  
便利な使い方があります(P59、75)。  
気軽に録音できるのもうれしい(P41)。



市販のミュージック  
データに対応!

お好みのミュージックデータをお楽しみください(P57、103)。

